

Profile



ホンソングン 洪城郡



統計

人口 約10万人

▶大府市は約9万人

面積 約446km²

▶大府市は約34km²



大海老



鳥貝



廣川ノリ

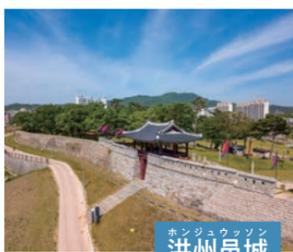


洪城韓牛

観光地



南唐港



洪州邑城



龍鳳山

History



大府市と洪城郡は、世界保健機関(WHO)が提唱する「健康都市連合」加盟都市というつながりをきっかけに、2018年から交流を開始。健康都市に関する情報交換や視察の受け入れ、首長の相互訪問のほか、洪城郡内にあるK-POP高校との青少年交流など、さまざまな交流を重ねてきました。

こうした交流の積み重ねの中で、両都市の結び付きをさらに深めるため、2024年9月24日に姉妹都市協定を締結しました。



City Talks

大府市長と洪城郡守が語る

姉妹都市交流の今



イ・ヨンロク 洪城郡守

2025年は、洪城グローバルバーベキューフェスティバルへの市民団派遣をはじめ、各分野で活発な交流を行い、信頼と友情をさらに深める意義深い年となりました。これらの取り組みは、両都市の関係が単なる相互訪問にとどまらず、実質的な協力へと発展していることを示しています。

今後はより幅広い分野で民間交流を広げ、お互いに発展していける関係の構築を目指してまいります。



岡村 秀人 大府市長



姉妹都市協定締結から約1年半が経ち、スポーツ・音楽・青少年・農業・市民交流など、多分野で交流が広がってきました。言葉や文化の違いを越えて相互理解が深まり、両都市の絆の強まりを実感しています。

多くの皆様のご協力に感謝するとともに、これまでのつながりを大切にし、今後も信頼を深めながら、市民同士の交流が広がるよう取り組んでまいります。

Sports



Citizen



Youth



Music

Friendship ● 大府市 ● 洪城郡

協定締結から1年半 新たに広がる 日韓交流

文化交流課 ☎(45)6266

韓国・洪城郡との姉妹都市協定締結から約1年半が経ち、両都市ではさまざまな交流事業を進めてきました。顔を合わせ、共に学び、体験する交流を通して、市民同士の距離は着実に縮まり、相互理解と信頼の輪が広がっています。

今号の特集では、協定締結後に行った交流事業を振り返りながら、交流の広がりやそこで生まれたつながりを紹介します。

Agriculture



Music

- Exchange 01
- Exchange 02
- Exchange 03
- Exchange 04
- Exchange 05

音楽交流

バイオリンとオカリナで奏でる友情



大府市に鈴木バイオリン製造(株)、洪城郡にノーブル社という楽器製造会社があることをきっかけに音楽交流を開始しました。

2025年9月11~15日、ノーブル社のイ・ダホさんが来訪し、市内在住のオカリナ奏者・西村麻衣子さんと鈴木バイオリン製造(株)代表取締役社長の小野田祐真さんと共に、ロビーコンサートでバイオリンとオカリナによる協奏を披露しました。

おおぶオカリナフェスタでは、市民グループやオカリナ教室に通う子どもたちの合奏も行い、音楽を通じた交流の輪が市民へと広がりました。



感情を奏でるオカリナの魅力

イ・ダホさん



皆さんが明るく楽しそうに演奏していて、私も楽しむことができました。

オカリナは、音程や呼吸を自分で調整でき、感情を表現しやすい点が魅力です。今回のイベントを通して、両都市の交流がさらに深まることを期待しています。

音で心が通じ合った瞬間

西村 麻衣子さん



オカリナ2本とバイオリンという珍しい編成だったので不安もありましたが、いざ演奏するとイさんが私たちの音をよく聴き、自然に合わせてくださり、心が通じ合う感覚がありました。

手軽でありながら奥深いオカリナを、今後は洪城郡の方たちも楽しんでいきたいです。

Sports

- Exchange 01
- Exchange 02
- Exchange 03
- Exchange 04
- Exchange 05

野球交流

中学生が熱戦 硬式野球で国際交流

2025年7月6日、初めてのスポーツ交流事業として、洪城郡守杯全国中学野球大会で優勝した洪城郡の野球チーム「洪城BC U-16」が来訪し、大府市民球場で交流試合を行いました。

「知多東浦リトルシニア」と「ボーイズOBU JAPAN (ボーイズリーグ中日本ブロック愛知県中央支部)」の各チームと対戦し、競技を通して親善を深めました。



文化の違いを肌で実感

大府中3年生
小山 竜ノ介さん



韓国チームがどんな戦術で野球をするのか楽しみにしていました。ベンチで応援歌を歌ってチームの雰囲気を盛り上げていて、野球を心から楽しんでいることが伝わってきました。洪城郡の方たちと野球をするのは初めてだったので、とても楽しかったです。

スピードと全カプレーに感動

中学3年生
イ・ソンホさん



日本の選手はベースランニングがとても上手で、打ってから走るまでのスピードが速く、スライディングも印象的でした。一つ一つのプレーから野球に対する強い熱意が伝わってきました。今後、日本の野球に触れる機会がさらに増えたらうれしいです。

言葉を越えて伝わった温かな交流

バーベキューフェスティバルでお土産を現地の方へ渡した時、「なぜ配っているのですか」と声を掛けられ、「大府市から来ました」と話すと笑顔で受け取ってくれました。

多くの言葉を交わさなくても、相手の表情や反応から温かさや人とのつながりを感じることができ、心に残る交流となりました。

笠松 千尋さん



Citizen

- Exchange 01
- Exchange 02
- Exchange 03
- Exchange 04
- Exchange 05

市民団派遣

市民が体験 洪城郡の文化と自然

2025年10月29日~11月1日、市民団17人が洪城郡を訪問しました。洪城郡守への表敬訪問のほか、洪城郡最大規模の食文化イベント「洪城グローバルバーベキューフェスティバル」に参加し、グルメブースや音楽ステージなど多彩な催しを通して、現地の人々との交流を楽しみました。

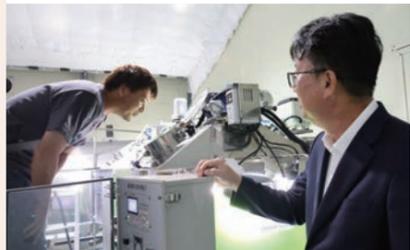
雄大な景観で知られる龍鳳山のハイキングや、西海岸沿いの美しい夕日を誇る南唐港の視察を行い、洪城郡の豊かな自然や地域の魅力に触れました。さらに、韓服の着用体験やキムチ作り体験を通して、韓国の伝統文化を学んで体験する貴重な機会となりました。

農業を通して学ぶ両都市の知恵

大府市は、有機農業をはじめとする環境にやさしい農業の推進に力を入れており、2024年11月22日には「大府市オーガニックビレッジ宣言」を行いました。

一方、洪城郡は1994年に韓国で初めて「カモ農法」を導入し、2014年には韓国で初めて有機農業特区に指定された地域であり、有機農業の先進地として知られています。さらに、2024年には、低炭素・有機農業特区に再指定され、持続可能な新環境農業を推進しています。

2025年6月23日、洪城郡の農業青年クラブが大府市を訪れ、農業施設の視察などを通じて学びを深めました。さらに、2025年9月22～25日、市内の農業関係者が洪城郡を訪問し、有機農業の取り組みを視察するなど、相互の学びと交流を深めました。



韓国の有機農業に触れて見えた地域の力

4日間の視察はとても有意義で、生産だけでなく流通や地域、行政を含めた韓国全体の有機農業の取り組みを知ることができました。特に、日本でいう農協のような組織が、技術の共有や農機具の貸し出しなど、生産者を支える仕組みを整えている点が印象的でした。有機農業が難しい中でも、脱炭素や減農薬といった環境にやさしい農業を地域全体で推進している姿勢から学ぶことは多かったです。

今後は、生産者同士の技術交流を深め、つながりを強めていきたいと感じました。

農業者 杉山 修一さん



文化交流課
イ・ハウ

Summary

担当者コメント 笑顔でつなぐ、国を越えた友情

協定締結後、スポーツ・音楽・青少年・農業・市民交流などのさまざまな交流を行い、多くの皆さんに参加していただきました。交流の場では、言葉や文化の違いがある中でも、お互いを理解しようとする気持ちが自然と生まれ、笑顔を通して人と人とのつながりが深まっていく様子を実感しました。こうした交流は、参加してくださった皆さん一人一人の協力によって成り立っています。今後も洪城郡との交流を大切に育みながら、国際交流をより身近に感じてもらえる機会を広げ、未来へと続く友好関係を築いていきたいと思っております。



K-POPでつながる高校生の交流

2023年7月23～29日、初めて洪城郡内のK-POP高校に大府市の高校生を派遣しました。参加者は、ダンス授業体験や韓国の伝統文化に触れる活動を通して、現地の生徒と交流を深めました。2024年10月17～20日、K-POP高校の高校生が来訪し、おおぶK-POPダンスフェスへの参加をはじめ、日本文化体験やホームステイなどの活動を通して、両都市の友好関係はさらに深まりました。

その後も交流は続き、2025年7月21～25日に洪城郡に派遣された市内の高校生は、帰国後に産業文化まつりでK-POP高校で学んだダンスを披露し、交流の成果を発表しました。



出会いと学びにあふれた5日間 大府東高3年生 市倉 結奈さん

ダンスや歌の授業を通して、言葉だけでなく気持ちで通じ合うことの大切さを学びました。その経験によって、韓国の友達との絆もより深まったと感じています。5日間の交流では、文化体験として洪城郡の名所を訪れたり、韓服を着たりなど、普段体験することのできないことにたくさん触れ、日本との違いに感激しました。



E V E N T

まるっと韓国文化体験デー

2月8日、洪城郡や韓国を身近に感じてもらうことを目的に、まるっと韓国文化体験デーを開催しました。

会場では、洪城郡出身の絵本作家リュウ・チェスウさんの絵本『きいろいかさ』をはじめ、話題の韓国絵本が紹介されたほか、伝統文化体験や両都市の交流を振り返る写真展も開催しました。